

中国経済展望

2011年6月



調査部 環太平洋戦略研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

- ◆本資料は2011年5月26日時点で利用可能な情報をもとに作成
- ◆本資料に関するご照会先
環太平洋戦略研究センター 関辰一 (Tel:03-3288-4533)

中国経済概説 (2011年6月)

1. 景気の現状

(1) 景気は拡大傾向

景気は、内需の拡大と外需の持ち直しにより拡大傾向にあるものの、テンポがやや緩やかになった。

(2) 主要経済指標の動き

- ① 内需については、固定資産投資は旺盛な国内需要と潤沢な資金供給を背景に、多くの業種で高い伸び。一方、利上げや不動産価格抑制策を受けて、住宅投資の先行指標となる新設住宅着工面積は金融危機前の拡大ペースに回帰。また、原材料価格や名目賃金の上昇、過当競争により、加工型産業に赤字拡大の兆し。小売売上高は比較的高い伸びを維持。
- ② 外需は高水準を維持。輸出は先進国の景気回復に加え、新興国の高い経済成長により堅調に拡大。
- ③ 一部に減速の兆しが見られ、4月の工業生産は前年同月比13.4%の伸び。伸び率は3月に比べて1.4ポイント低下。
- ④ 4月の消費者物価上昇率は前年同月比5.3%。上昇幅は3月から0.1ポイント縮小したものの高水準。a)名目賃金の上昇、b)潤沢な資金供給、c)天候不順、d)輸入価格の上昇が物価高をもたらす。4月の北京の住宅販売価格は前年同月比2.8%の上昇。上海は同1.3%の上昇。沿海部、内陸部とも上昇ペースがやや減速。

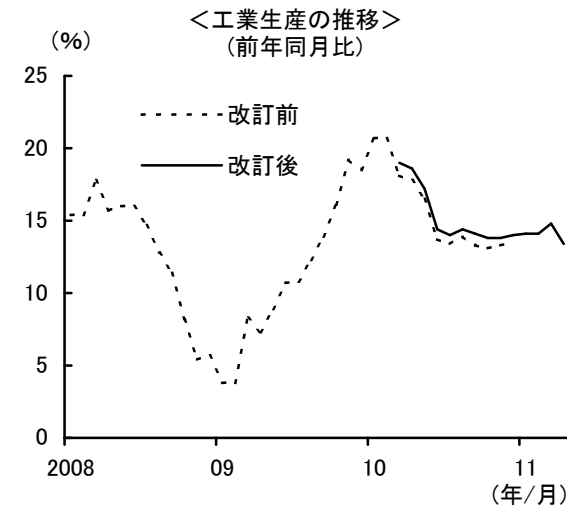
2. 最近の経済政策

(1) 預金準備率の引き上げ(5/12公表)

人民銀行は5月12日に預金準備率の0.5ポイントの引き上げを発表。同月18日から実施。預金準備率の引き上げは2010年11月以降7カ月連続。

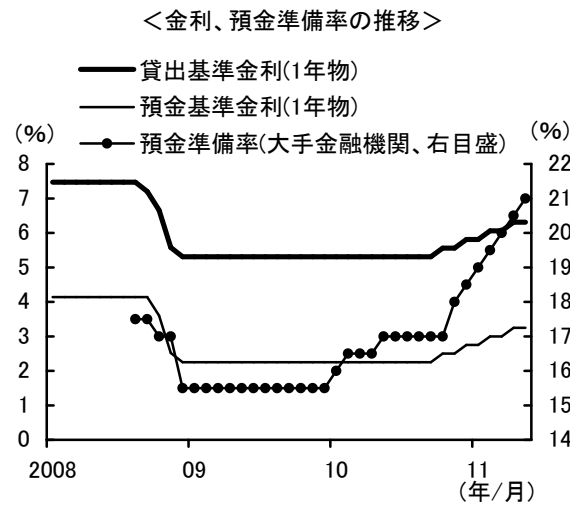
(2) 値上げ制限令の徹底

政府は企業に値上げの自粛を要請。食品製造業や日用品製造業、小売業などが対象。大手中国企業や外資企業のうち一部はこれに従い4月以降の値上げを回避。値上げ実施企業には罰金を課した。さらに、販売価格を維持するものの、製品サイズを小さくし、実質単価を引上げる行為などに対しては、中央政府と地方政府が監視を強化。

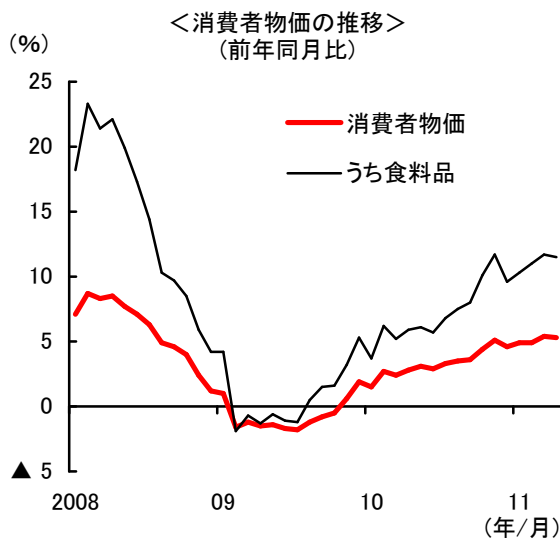


(資料)国家統計局

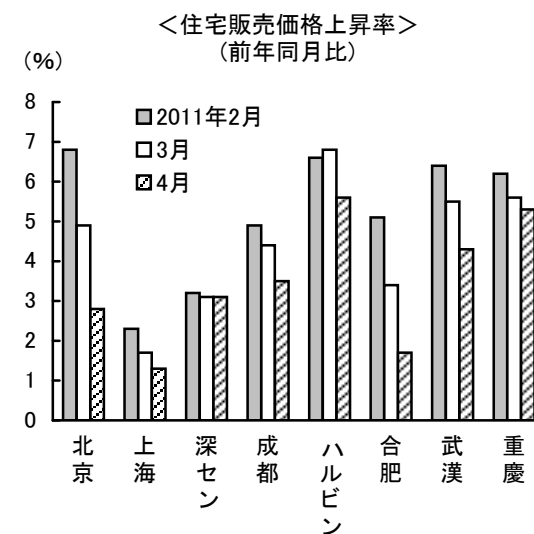
(注)改訂前の対象は年間売上高500万元以上の企業、改訂後の対象は同2,000万元以上の企業。



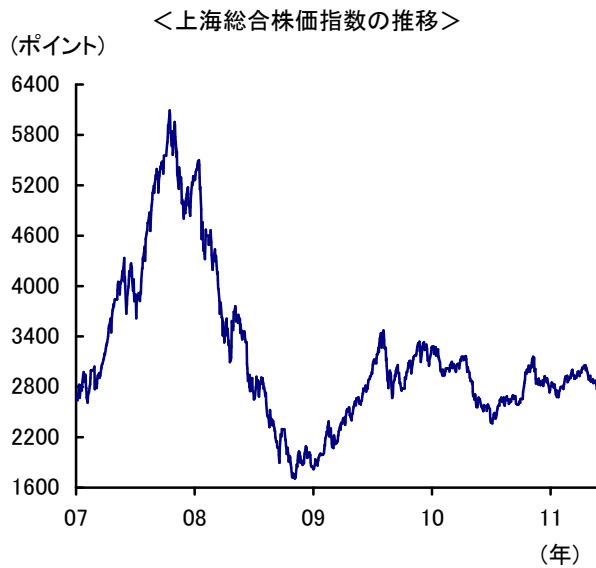
(資料)中国人民銀行



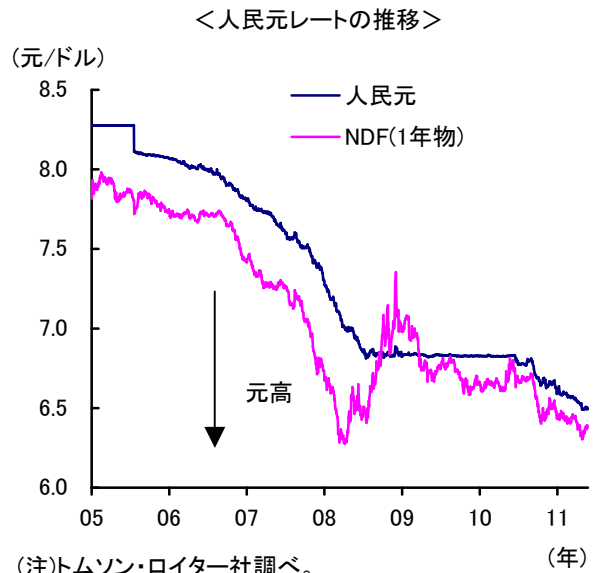
(資料)国家統計局



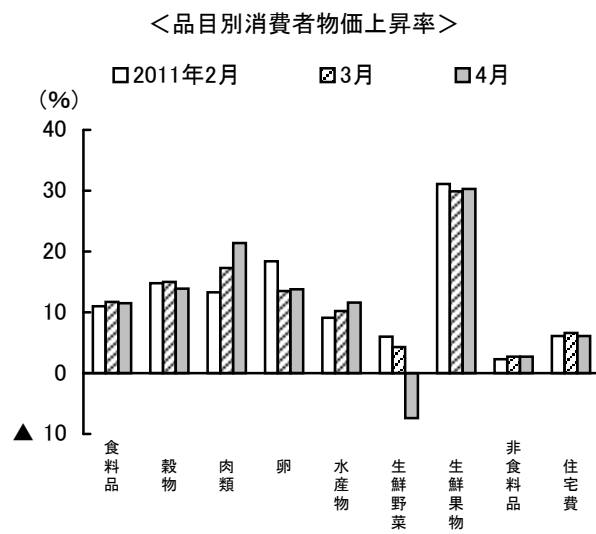
(資料)国家統計局



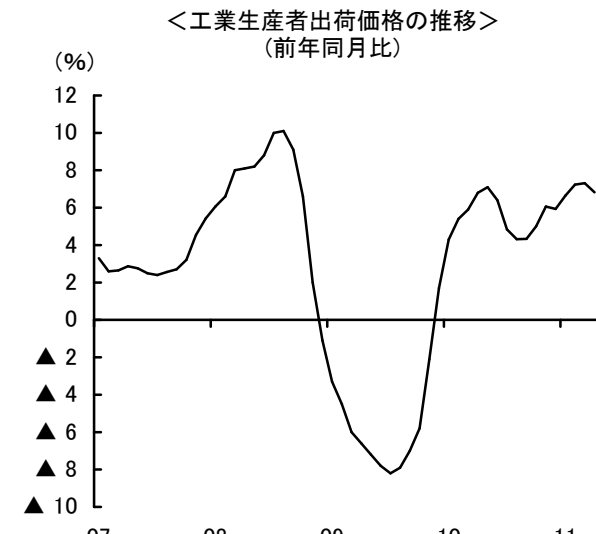
(資料)上海証券取引所



(資料)Datastream



(資料)国家統計局



(資料)国家統計局

3. 株価・為替レートの動き

(1) 上海総合株価指数

- ① 5月25日の上海総合株価指数(終値)は2,742ポイントと4月末から▲5.8%下落。
- ② 労働節連休明け直後は4月のPMIの低下を懸念し、小幅に低下。中旬に預金準備率の引き上げが発表されたものの、市場織込み済みのため、横ばいで推移。下旬は景気減速懸念が高まり、下落。

(2) 対米ドルレート

- ① 5月25日時点で、1米ドル=6.493元。4月末と同水準。前月に対して切り上がらなかったのは2010年8月以来。
- ② 人民元高はa)対外購買力の向上、b)元売り・ドル買い介入の抑制により、インフレの緩和に機能。物価の上昇率は依然と高水準であるため、元高によるインフレ抑制作用が期待される。こうしたなか、5月に人民元が切り上げられなかったのは、米国の人民元改革要求に対する反発との見方も。

4. 物価・金融

(1) 品目別消費者物価

- ① 4月の食料品価格は前年同月比11.5%と大幅に上昇。うちわけをみると、穀物(同13.9%)、肉類(同21.4%)、卵(同13.8%)、水産物(同11.6%)、生鮮果物(同30.3%)と上昇。一方、生鮮野菜は供給増加により同▲7.4%とマイナスに転じた。
- ② 非食料品価格は同2.7%上昇。建設材料費や家賃、光熱・水道費を含む住宅費は同6.1%と大幅に上昇。

(2) 工業生産者出荷価格

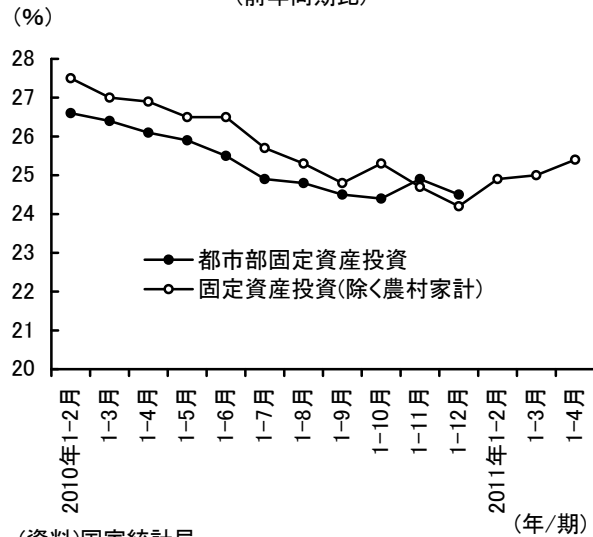
4月の工業生産者出荷価格は前年同月比6.8%高と、3月の同7.3%高を下回った。

(3) M2・銀行融資残高

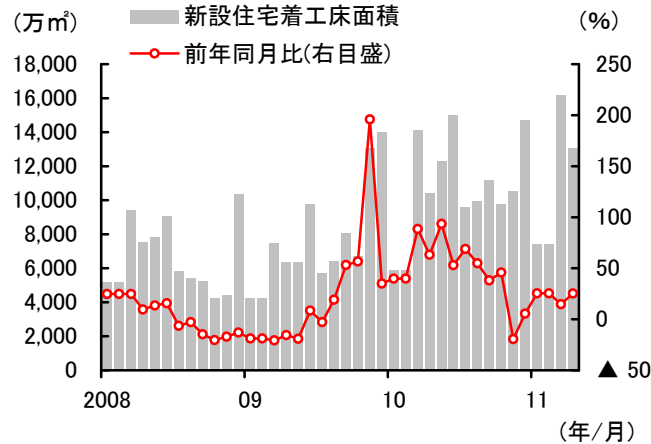
4月のM2は前年同月比15.3%増と3月の伸びを1.3ポイント下回った。

◆ 需要項目別：固定資産投資、個人消費

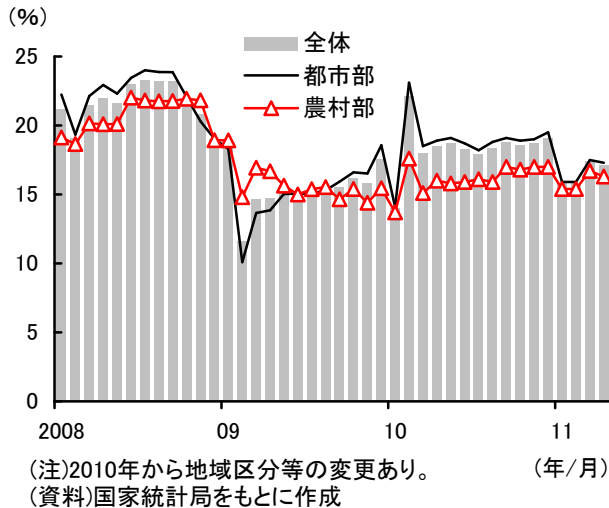
＜固定資産投資の推移＞
(前年同期比)



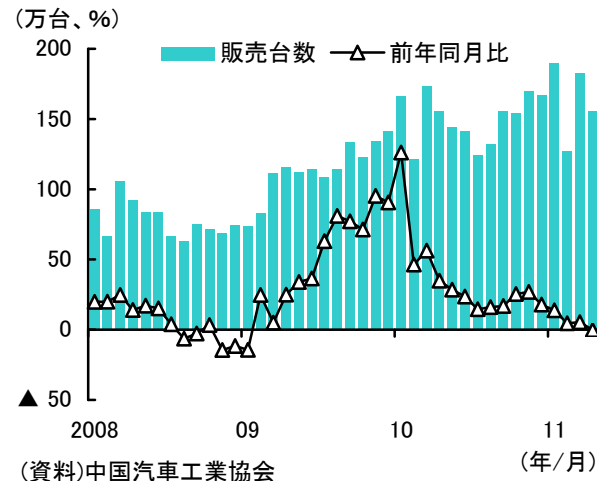
＜新設住宅着工面積の推移＞



＜小売売上高の推移＞
(前年同月比)



＜自動車販売台数の推移＞



【固定資産投資】

(1) 固定資産投資(除く農村家計)

- ① 2011年1～4月の固定資産投資(除く農村家計)は前年同期比25.4%増の6兆2,716億元。伸び率は1～3月期の同25.0%増から上昇。(2011年3月から季節調整済み前月比を公表、4月は3.1%増)。
- ② 潤沢な資金供給と旺盛な国内需要により、大半の業種で高い伸び。1～3月期の製造業の固定資産投資(除く農村家計)は前年同期比29.2%増。不動産業は同31.0%増。

(2) 新設住宅着工面積

- ① 4月の新設住宅着工面積は前年同月比25.3%増。伸び率は3月の同14.7%から上昇。利上げや一連の不動産価格抑制策により、住宅着工は金融危機前の拡大ペースに回帰。

【個人消費】

(1) 小売売上高

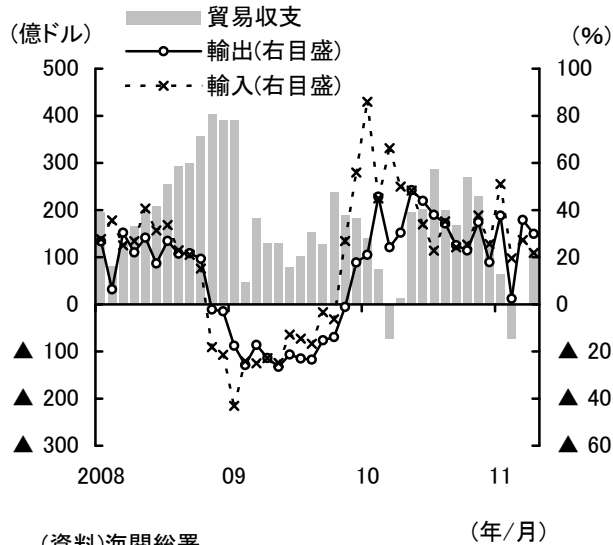
- ① 4月の小売売上高は前年同月比17.1%増と3月から0.3ポイント低下(2011年3月から季節調整済み前期比を公表、4月は1.4%増)。地域別にみると、都市部は同17.3%増、農村部は同16.3%増。
- ② 一定規模以上企業の小売売上高(全体の44%)は4月に前年同月比23.8%増。貴金属類同54.3%増、石油製品同39.7%増と高い伸び。

(2) 自動車販売

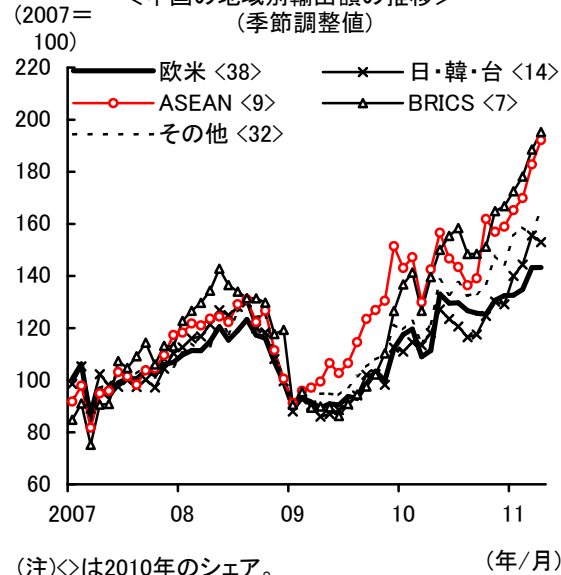
- ① 4月の自動車販売台数は前年同月比▲0.2%の155万台。うち乗用車は同2.8%増の114万台。商用車(トラック・バス)は同▲7.8%の41万台。
- ② 4月の東風日産の乗用車販売(除くSUV、MPV、クロスオーバー型)は前年同月比▲6.3%。一汽トヨタ同▲29.8%、広州本田同▲23.0%と、日系は東日本大震災の影響により部品不足のため減少。一方、上海VW同32.7%増、上海GM同6.7%増、一汽VW同10.4%増、北京現代同13.3%増と他の外資メーカーはいずれも増加。

◆ 需要項目別：輸出入、対中直接投資

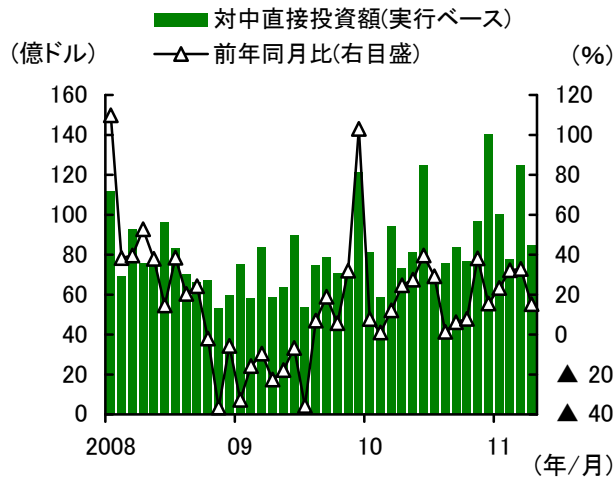
＜輸出入の伸び率(前年同月比)と貿易収支の推移＞



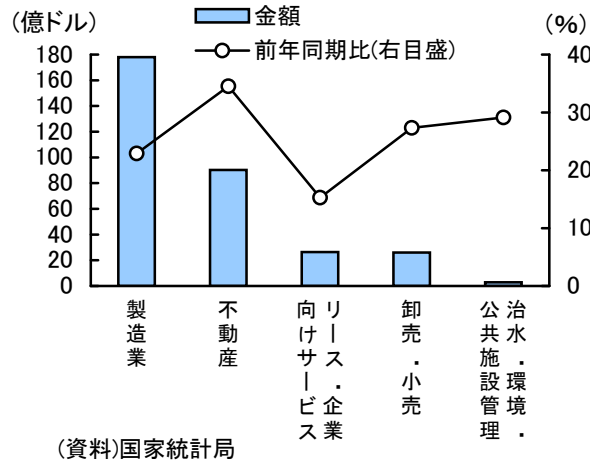
＜中国の地域別輸出額の推移＞
(季節調整値)



＜対中直接投資額の推移＞



＜業種別外資導入額＞
(2011年1～4月)



【輸出・輸入】

(1) 輸出

- ① 4月の輸出は前年同月比29.9%増。伸び率は3月の同35.8%を下回った。
- ② 国・地域別にみると、4月の米国向けは前年同月比25.0%増。EU向けは同27.0%増。欧米の景気回復により、欧米向け輸出は緩やかに拡大。
- ③ 一方、4月のブラジル向けは前年同期比40.6%増と欧米向けを上回る伸び。ロシア向けも同53.9%増と高い伸び。新興国の高い経済成長を背景に、BRICSなど新興国向けはハイペースで拡大。

(2) 輸入

- ① 4月の輸入は前年同月比21.8%増。伸び率は3月の同27.3%増を下回った。
- ② 国・地域別にみると、4月の日本からの輸入(最大の輸入相手)は東日本大震災の影響を受けて、同4.6%増と3月の16.6%増から増加幅が縮小。
- ③ ブラジルからの輸入は同5.4%増と3月の同60.8%増から急減速。南アフリカからも同118.7%増と、伸び率は3月から49.7ポイント低下。これまで、旺盛な国内需要を背景に資源在庫を積上げてきたものの、足元では在庫の積上げに歯止め。

(3) 貿易収支

4月の貿易黒字は114億ドル。貿易黒字は2カ月連続。

【対中直接投資】

(1) 概況

4月の対中直接投資は前年同月比15.2%増。伸び率は3月の同32.9%増を下回った。

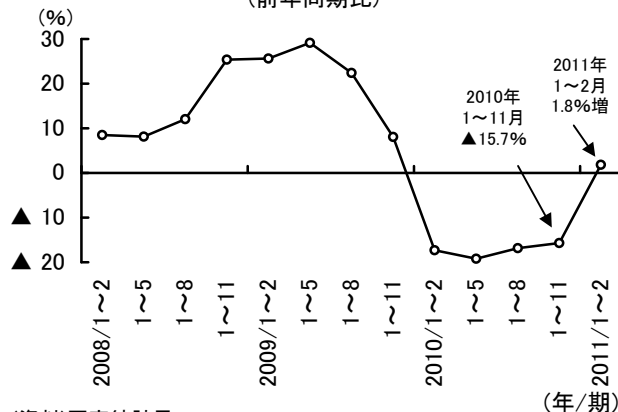
(2) 業種別投資額(2011年1～4月)

大半の業種において前年同期を上回る規模で推移。とりわけ、不動産業(前年同期比34.5%増)、卸・小売業(同27.3%増)、など非製造業の伸びが顕著。

トピックス

加工型産業に赤字拡大の兆し

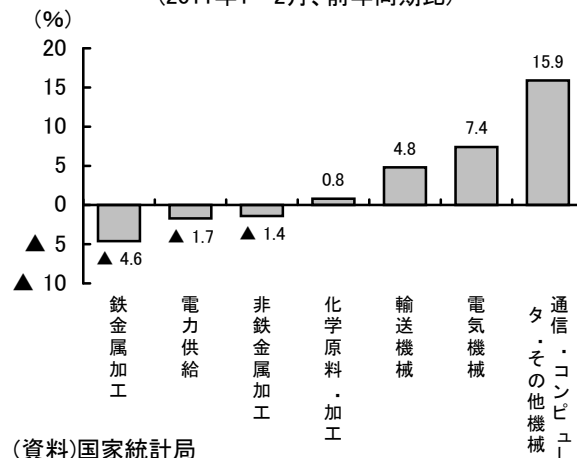
＜赤字企業数の推移＞
(前年同期比)



(資料)国家統計局

(注)売上高2,000万元以上の工業企業30万5,790社のうち、2011年1~2月に赤字となったのは前年同期比1.8%増の4万8,522社。

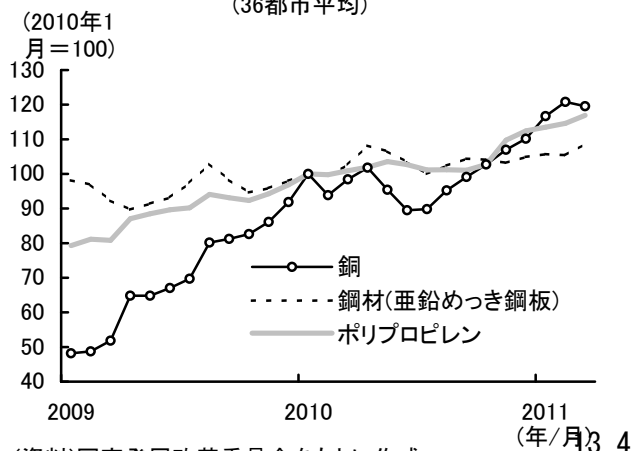
＜業種別赤字企業数の増減＞
(2011年1~2月、前年同期比)



(資料)国家統計局

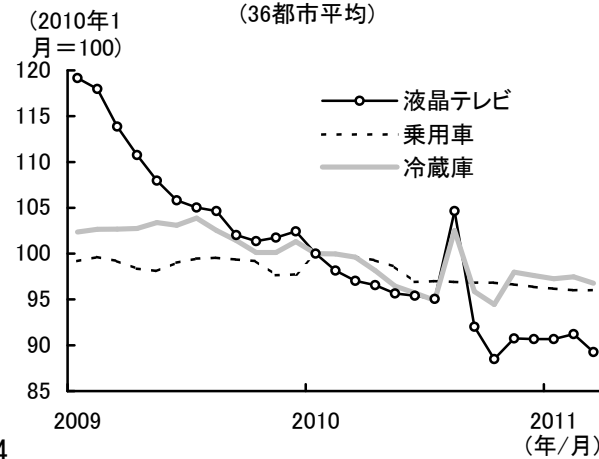
(注)売上高2,000万元以上の企業。

＜品目別卸売価格の推移＞
(36都市平均)



(資料)国家発展改革委員会をもとに作成

＜品目別小売価格の推移＞
(36都市平均)



(資料)国家発展改革委員会をもとに作成

中国の加工型産業に赤字拡大の兆し。この主因は原材料価格と名目賃金の上昇。過当競争による販売単価の抑留もあいまって、加工型産業の利益が圧迫。

(1) 赤字企業数に増加の兆し

① 工業企業(含む鉱業、製造業、電力・ガス・水道業)の赤字企業数は2011年1~2月に前年同期比1.8%増と、2010年1~11月の同▲15.7%からプラスに転じた。

② 業種別にみると、2011年1~2月の通信・コンピュータ・その他機械は前年同期比15.9%増、電気機械同7.4%増、輸送機械同4.8%増と、加工型産業の赤字転換が顕著。

③ 赤字企業の大半は比較的規模の小さい企業。2009年の赤字企業(全工業企業)のうち大中型企業は11.1%にとどまった。2010年も同10.4%と限定的。

(2) 原材料価格と名目賃金の上昇がコスト負担を拡大

① 新興国の成長を背景に、素材全般の価格に上昇圧力がかかっている。例えば、電線などに用いられる銅の卸売価格は2011年1~3月期に前年同期比22.2%上昇。

② 2011年1~3月期の都市部の1人あたり平均賃金も労働市場の逼迫と最低賃金の引き上げにより前年同期比14.7%上昇した。原材料価格の上昇とあいまって、企業のコスト負担を拡大。

(3) 過当競争が売上増加の重し

① 一方、加工型産業の販売価格は、激しい企業間競争により引き上げが困難である。液晶テレビの小売価格は低下傾向が続き、2011年1~3月期に前年同期比▲8.1%低下。

② この結果、販売数量は大幅増となるものの、低水準の販売単価により、売上は伸び悩んだ。とりわけ、競争力の弱い加工型産業の利益が圧迫。

(4) 加工型産業分野で赤字企業が増加するリスク

今後、原材料価格や名目賃金の上昇が続くと予想されるだけに、加工型産業分野で赤字企業が増加するリスク。

	国民所得		生産・物価・労働			国際収支								金融・資本市場			
	名目GDP	実質GDP 成長率	工業生産 付加価値	消費者物 価指数	失業率	輸出		輸入		貿易収支	経常収支	対中直接 投資	外貨準備	為替レート	M2(期末)	銀行間貸 出金利	上海総合 株価指数
	億元	%	%	%	%	100万ドル	前年比	100万ドル	前年比	100万ドル	100万ドル	100万ドル	100万ドル	RMB/US\$	%	% (90日)	(期末値)
2008年	314,045	9.6		5.9	4.2	1,430,694	17.4	1,132,567	18.5	298,127	436,107	92,400	1,946,030	6.9480	17.8	4.30	1,821
2009年	340,903	9.2		-0.7	4.3	1,201,610	-16.0	1,005,922	-11.2	195,688	297,142	90,030	2,399,152	6.8310	27.6	1.73	3,277
2010年	397,983	10.3		3.3	4.1	1,577,978	31.3	1,394,501	38.6	183,477	331,000	105,735	2,847,338	6.7704	19.7	2.66	2,808
09年	4～6月	148,081	7.9	-1.1	4.3	276,080	-23.5	242,159	-20.2	33,921		21,232	2,131,606	6.8296	28.4	1.47	2,959
	7～9月	231,139	9.1	-1.1	4.3	324,919	-20.6	286,593	-11.6	38,326		20,757	2,272,595	6.8310	29.3	1.88	2,779
	10～12月	340,507	10.7	-0.7	4.3	355,041	0.1	293,888	22.7	61,153		26,268	2,399,152	6.8273	27.6	1.84	3,277
10年	1～3月	81,622	11.9	2.2	4.2	316,040	28.7	302,022	64.8	14,018	53,600	23,443	2,447,083	6.8269	22.5	2.03	3,109
	4～6月	172,840	10.3	2.6	4.2	388,869	40.9	347,806	43.6	41,063	72,900	27,987	2,454,274	6.8234	18.5	2.52	2,398
	7～9月	268,660	9.6	2.9	4.1	429,648	32.2	364,288	27.1	65,360	102,300	22,910	2,648,303	6.7713	19.0	2.60	2,656
	10～12月	397,983	9.8	3.3	4.1	443,421	24.9	380,385	29.4	63,036	102,200	31,395	2,847,338	6.6602	19.7	3.50	2,808
11年	1～3月	96,311	9.7	14.4	5.0	399,669	26.5	400,397	32.6	-728		30,340	3,044,674	6.5840	16.6	4.59	2,928
09年	4月			-1.5		91,923	-22.8	78,983	-22.9	12,940		5,892	2,008,879	6.8312	25.9	1.65	2,478
	5月			-1.4		88,699	-26.5	75,665	-24.9	13,034		6,379	2,089,490	6.8245	25.7	1.38	2,633
	6月			-1.7		95,458	-21.3	87,511	-12.9	7,947		8,961	2,131,606	6.8332	28.4	1.38	2,959
	7月			-1.8		105,391	-23.0	95,151	-14.6	10,240		5,359	2,174,617	6.8320	28.4	1.86	3,412
	8月			-1.2		103,663	-23.4	88,243	-16.8	15,420		7,499	2,210,826	6.8322	28.5	1.80	2,668
	9月			-0.8		115,865	-15.3	103,199	-3.4	12,666		7,899	2,272,595	6.8289	29.3	1.97	2,779
	10月			-0.5		110,642	-13.9	86,848	-6.4	23,794		7,105	2,328,272	6.8275	29.5	1.84	2,996
	11月			0.6		113,659	-1.2	94,691	26.8	18,968		7,023	2,388,788	6.8274	29.6	1.82	3,195
	12月			1.9		130,740	17.7	112,349	55.9	18,391		12,140	2,399,152	6.8271	27.6	1.86	3,277
10年	1月			1.5		109,495	21.0	95,513	85.9	13,982		8,129	2,415,221	6.8273	26.1	2.04	2,989
	2月			2.7		94,477	45.6	87,053	44.9	7,424		5,895	2,424,590	6.8270	25.5	2.01	3,052
	3月		19.0	2.4		112,068	24.2	119,456	66.3	-7,388		9,419	2,447,083	6.8264	22.5	2.05	3,109
	4月		18.6	2.8		119,854	30.4	118,429	49.9	1,425		7,346	2,490,511	6.8262	21.5	2.00	2,871
	5月		17.2	3.1		131,672	48.4	112,191	48.3	19,481		8,132	2,439,505	6.8274	21.0	2.06	2,592
	6月		14.4	2.9		137,343	43.9	117,186	33.9	20,157		12,509	2,454,274	6.8165	18.5	3.50	2,398
	7月		14.0	3.3		145,442	38.0	116,820	22.8	28,622		6,924	2,538,893	6.7775	17.6	2.65	2,638
	8月		14.4	3.5		139,254	34.3	119,301	35.2	19,953		7,602	2,547,837	6.7901	19.2	2.49	2,639
	9月		14.1	3.6		144,952	25.1	128,167	24.2	16,785		8,384	2,648,303	6.7462	19.0	2.65	2,656
	10月		13.8	4.4		135,963	22.9	108,880	25.4	27,083		7,663	2,760,899	6.6732	19.3	2.81	2,979
	11月		13.8	5.1		153,309	34.9	130,436	37.7	22,873		9,704	2,767,809	6.6558	19.5	3.22	2,820
	12月		14.0	4.6		154,149	17.9	141,069	25.6	13,080		14,028	2,847,338	6.6515	19.7	4.48	2,808
11年	1月		14.1	4.9		150,734	37.7	144,273	51.0	6,461		10,028	2,931,674	6.6027	17.2	4.84	2,791
	2月		14.1	4.9		96,736	2.4	104,064	19.4	-7,328		7,795	2,991,386	6.5831	15.7	4.84	2,905
	3月		14.8	5.4		152,199	35.8	152,060	27.3	139		12,517	3,044,674	6.5662	16.6	4.08	2,928
	4月		13.4	5.3		155,686	29.9	144,263	21.8	11,423		8,463	6.5299	15.3	4.08	2,912	

(注) ①名目GDP総額と消費者物価指数の四半期ベースは、1～3月期、1～6月期、1～9月期、1～12月期の数値。

②失業率と銀行間貸出金利以外の%は、前年同期比、前年同月比の伸び率。

③直接投資額は銀行・証券・保険業界への投資を除く。

④2011年以降、工業生産付加価値統計の対象が売上高500万元以上の企業から2,000万元以上の企業に変更。

(資料)中国国家统计局、中国海関統計、中国人民銀行統計季報、中国経済景気月報他をもとに作成。